

2017年3月30日

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



vol.7 Issue 1

ご挨拶



2016年度国際歯科学士会日本部会総会において会長として認証いただきました。

日本部会が60周年を迎えるという大きな節目に会長として認証されました事は、私自身大変の引き締まる思いでありますと共に、自らを精進して本会の発展のために努力いたす所存でございます。

先輩方の築かれた三大事業については、より一層の充実を図るよう役員と共に具体策を講じ、実行に移したいと考えております。それと平行して、会員数減少の問題についても早急に取り組まなければならないと考えております。

自らが求め、歩みだす事こそがICD日本部会綱領を实践する真のICDフェローです。役員・委員並びに会員の皆様方からのご協力・ご助言を賜りながら、本会のさらなる発展を目指して参ります。

(一社)ICD日本部会 会長 水谷 忠司

歴代会長のことば



栗山先生のあと、23代会長を仰せつかりました。

私の期間ではI・C・Dを法人化するのが課題でした。その当時、国の制度変更でどの学会もどのような法人化にするのかを模索していました。

又、会員の減少が続くその対策として様々な対策を立案(I・C・Dアワード・支部の活性化など)されましたが…。

今思うに私自身の入会動機は「友人が増える、自分と違う世界が見える・ひろがる」という事が目的でありました。そのようなことから共感を頂ける先生方もおられるのではないだろうかとの思いから、目的達成のため一つの提

案として「各々のフェローのプロフィール」を小冊子にする。そこに記載される内容は少し詳細な自分の仕事の得意分野、趣味などを開示する(ニューフェローのプロフィールより少し深く…)。この小冊子をもとに三大会合で活用することで相互の会話のきっかけになるのではないだろうか?

これで、退会動機の一つである、自分を知って下さる先生は推薦して下さった先生だけで周囲の先生に何を話しかけたらいいか迷ってしまい、さみしくもあり会への出席が楽しくないと…。という思いは防げるのではないだろうか。

I・C・Dは優秀な歯科医師の集まりであります。

多くのフェローは様々な事例など参考になるような情報を多数お持ちです。お互いを知ることで活性化になると思っています。それが入会の動機になれば幸いです。

第23代会長 小室 甲

.....
**2017年度
三大事業 開催予定**
.....

第60回総会・認証式

2017年5月20日(土)
アークヒルズクラブ
(東京)

年末集会

2017年12月16日(土)
帝国ホテル(東京)

*皆様のご参加を
お待ちしております*

◎ 総会・認証式

2017年度の国際歯科学士会(ICD)日本部会総会・認証式は5月20日(土)、東京都港区赤坂1-12-32アーク森ビルイーストウィング37F「アークヒルズクラブ」にて開催いたします。認証式の後には特別講演、懇親会を予定しております。特別講演は「国際宇宙船開発という挑戦」と題してJAXA研究開発部門 第一研究ユニット長山中浩二様にお話頂く予定です。今回も滞り無く式を行えるように企画調整しておりますので、フェローの皆様のご協力をお願いいたします。

事業運営委員会(総会・認証式担当) 委員長 天野 恭彦



◎ 年末集会

2016年度の年末集会は12月17日(土)に帝国ホテルにて開催され、特別講演は水谷忠司会長のご友人でもある、三重県知事の鈴木英敬氏に『伊勢志摩サミットと伊勢神宮』と言う演題で、石井フェロー司会のもと、5月に開催された伊勢志摩サミットの概要や成果について経済効果やエピソード等を交えて、素晴らしい内容とユーモア溢れる講演を頂きました。

その後場所を移動して30分のカクテルパーティーを光の間前室で行い、同時開催の海外ボランティア写真展示を観ながら、皆様歓談されました。

最後に光の間に移動して坂本フェロー司会のもと、宮崎隆副会長の開会の辞で懇親会が開催されました。水谷忠司会長のご挨拶でスタートした後、故・森山徳長名誉フェローの奥様よりご挨拶とご寄附を頂きました。更にクリスマスソングの中で、景品くじ引きやニューフェローのインタビューが楽しく賑やかに行われ、最後に隅田百登子副会長の閉会の辞

で閉会いたしました。

事業運営委員会(年末集会担当) 委員長 佐野 修司



◎ 年末集会エクスカーショント

近年、恒例となりました、年末集会エクスカーションでの歌舞伎鑑賞。前夜の華やかなパーティーの余韻を楽しみながら、15名のフェローと、ご同伴の奥様・お嬢様、総勢27名が歌舞伎座に集いました。

今年の演目は、「あらしのよるに」でした。この演目は、聞くとところによりますと、絵本が歌舞伎になった初の作品とのことです。

水谷会長のご配慮により、私達がいただいた座席は花道の脇でした。当日の演目は、花道での見せ場が多く、中村獅童の熱演を間近に堪能させていただきました。

幕間には、レストランでお弁当。皆で和気藹々とビールなどいただきながらも次の開演時間を気にして、ちょっと心急ぐところも歌舞伎座ならではの楽しみです。

準備にご尽力くださいましたフェローの皆様、ありがとうございました。次の機会には、また大勢の皆様と楽しいひと時を過ごしたいと思います。

佐藤 恭子



● 冬期学会

2017年3月12日ICD日本部会冬期学会が日本歯科大学生命歯学部九段ホールにて開催されました。

今回の冬期学会メインテーマは「臨床のヒント Update」です。講演Ⅰ 武内博朗フェロー、講演Ⅱ 本山智得フェロー、講演Ⅲ 常盤肇フェロー、講演Ⅳ 脇智典フェローとICD日本部会の各分野のエキスパートであるフェローを講師に迎え、日常臨床でそれぞれ創意工夫を凝らしているポイントや注意点といった“勘所”を中心に、普段はなかなか聞けない「ちょっとしたヒント」が満載の日常臨床のレベルアップに直結した講演会となりました。

冬期学会終了後の懇親会では、演者の先生方を囲み大変楽しい時間を過ごすことができました。執行部はじめ多くのフェローの方々と事務局のご尽力のもと、有意義な冬期学会を執り行うことができました。ご協

力をいただきました皆様に深く感謝いたします。

事業運営委員会(冬期学会担当) 委員長 宮本 克樹



左から 武内フェロー、本山フェロー、水谷会長、常盤フェロー、脇フェロー

● 改革推進委員会

改革推進委員会は定款並びに規約、さらには諸問題に関して、執行部から諮問された事項を協議・検討し、答申します。

本年は富永正志常任理事、西山和彦理事、大岡 洋委員長、新谷雅隆委員、大木亨委員の5名より構成し、以下の活動をしました。

2016年8月4日委員会にて、2015年改革推進委員会で行なったアンケート結果を踏まえ、今後のICD日本部会のあり方について検討・議論しました。

改革推進委員会 委員長 大岡 洋



● 広報・編集委員会

広報・編集委員会では鏡宣昭常任理事、井上淳子理事の下、今年度も「国際歯科学士会日本部会雑誌 第47巻第1号」を発刊しました。

総会・認証式の特別講演、年末集会特別講演、冬期学会講演内容をご紹介します。5編の投稿原稿を掲載しています。また前号より引き続き特別企画として海外ボランティア(2)を特集し、奉仕の精神、国際社会への貢献というキーワードを基に、海外でのボランティア活動を積極的に行っている先生方にスポットを当てて活動の実態をご紹介します。ありがとうございました。

ホームページの管理、運営も大きな柱です。

過去の事業はもちろん、日本部会の歩みの記録を残しています。ニューフェローの紹介や3大事業の開催概要を迅速に更新していますので是非ご覧下さい。

また、トップページの季節の写真も毎月更新されます。フェローの皆様の投稿をお待ちしております。

広報・編集委員会 委員長 田中 康雅



● 国際交流委員会

国際交流委員会では認証式、総会での海外来賓(ICD会長、各国ICDフェロー)との交流並びに、各国認証式への出席、海外留学生交流等を引き続いて行っております。

昨年5月には、台湾部会認証式に小林前会長、隅田副会長、千田国際理事並びに歌橋フェローが参加いたしました。ICD会長のご臨席を賜り、日本部会の参加者共々現地会員との友好的な雰囲気の中、粛々と認証式および懇親会が行われました。

国際交流委員会 委員長 歌橋 麗華



● 財務委員会

フェローの皆さんこんにちは。ICDでは最近会員数の減少が問題になっています。退会者の増加と入会者の減少の為ですが、今年は19名の入会者が見込まれていて喜ばしいことです。この状態が続くことを祈らずにはられません。

ICDの組織がわかりにくいと思っているフェローも何人かいらっしゃると聞きます。いろいろな行事に参加しやすい、そしてフレンドリーな組織にして、先輩フェローと入会直後のフェローとがもっと仲よく密になり全体の絆を深めれば、もっと入会者も増加して、もっと大きなICD日本部会になると思います。それには、多くの人の知恵と力を借りて少しずつ前に進んでいくように努力したいと考えています。

財務委員会 委員長 小嶋 太郎



● 会員支援委員会

会員支援委員会は、ICD会員の皆様の相互親睦を図り、ニューフェローの会への浸透を深めるために活動しております。

具体的には、三大事業への各種支援、ニューフェローの勧誘に関わる活動を主に行っており、更に、今年度は水谷会長の発案の元、終身フェローを対象とした秋の錦齢会と、入会后2年以内のフェローを対象にした菁々会という新たな事業も発足しました。

今後も更なる工夫とアイデアにより、会員の皆様によりICDに親しんでいただけるよう、尽力して参りたいと思います。

会員支援委員会 委員長 安藤 正実



◎ 2016年度ニューフェロー紹介

天野 聖志

この度、水谷忠司会長、小峰一雄先生のご推薦により、2016年度新フェローとして国際歯科学士会日本部会に入会させていただきました天野聖志と申します。伝統あるICDに入会させていただきました、大変光栄に感じております。



出身は神奈川県小田原市、出身大学は東京歯科大学です。大学卒業後は、米国ウィスコンシン州にあるマーケット大学歯学部大学院補綴科で修士課程を卒業しました。帰国後は東京都港区虎ノ門にあった父の医院を引き継ぎ、現在は医院を移転して千代田区霞が関で開業しております。フェローの皆様、よろしくお願いたします。

五味 明良

千田彰先生、富士谷盛興先生のご推薦により、2016年度ICD日本部会に入会させていただいた五味明良です。



1981年に愛知学院大学を卒業後、同大学の保存修復学講座に長らく在籍しておりましたが、1999年に名古屋市東区に開業し、現在に至ります。

開業以来、地区の歯科医師会の執行部の一員として仕事をしてまいりました。歯科医師会の地域貢献、社会貢献はどうあるべきかを常々考えていたところ、タイミングよくICDの活動を知り、「公共の福祉のための歯科学」を学びたいと思い入会いたしました。

ICDの活動を通じて得た知識を地域の歯科医療に還元できたらと思います。

どうぞよろしくお願いたします。

三宮 恵子

この度小林菊生先生、前島健吾先生の推薦で入会させていただいた三宮恵子です。歯科界のロータリークラブのような存在で、権威ある学会に入会させていただきました光栄に存じます。鶴見大学歯学部を卒業後、東京女子医科大学歯科口腔外科学教室に入局



し、一般歯科はもとより口腔外科外来、病棟に8年間勤務し、非常勤講師を経て日本橋に開業しました。開業して26年になりますが、開業当初より予防医療の重要性を伝えながら地域歯科医療に貢献してまいりました。最近ではメディカルエステを導入し、より充実した予防医療を目指し、よりよいエイジングができるように、患者さんに寄り添う医療に心がけております。ICDのモットーである、社会貢献に参加できることを誇りにさせていただきたいと存じます。

三宮 慶邦

この度酒井康友先生、前島健吾先生の推薦で伝統あるICDに入会させていただきました、大変光栄に存じます。



神奈川歯科大学を卒業後、東京女子医科大学歯科口腔外科学教室

に入局し、約40年間口腔外科を中心に教育、研究、診療に従事し、3年程前に定年退職いたしました。少々時間の余裕ができたこともあり、地元の東京小石川ロータリークラブに入会し、いろいろな職種の方々と交流を深めつつボランティア的な活動に参加したり、しばらく遠ざかっていたゴルフを再開したり、最近は歯科以外の時間も増えてきています。

ICDの様々な活動に積極的に参加し、自己啓発と歯科医学領域を通じて国際社会に貢献していきたいと思っております。諸兄弟のご指導をよろしくお願い申し上げます。

神出 敏影

この度、水谷忠司会長、前田初彦先生のご推薦をいただき、伝統あるICDに入会させていただきました。錚錚たる先生方とお話できますことを大変光栄に感じております。



愛知県出身で、東海高校、愛知学院大学を卒業後、愛知学院大学大学院にて骨形成因子(BMP)の研究を行っておりました。大学院修了後は市中病院の歯科口腔外科に約15年勤務し、9年前に愛知県半田市で開業しました。現在は歯科医師会、学校歯科医会等を通じ、地域医療に貢献すべく病院勤務時とは違った側面より

微力ながら励んでおります。

ICDを通じてより見識を広め、何ができるかを自問しながら精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひいたします。

田中 幹久

この度、2016年新フェローとして、鈴木設矢先生ならびに隅田百登子先生のご厚意で、伝統ある国際歯科学士会へ入会させていただきました田中幹久(たなかもとひさ)と申します。

出身は東京都杉並区です。日本歯科大学新潟歯学部を卒業後、同大学の新潟の歯内治療学講座の大学院を修了いたしました。

その後、東京練馬区の歯科医院で勤務をし、小児矯正をはじめ口腔の咬合と発育の勉強をさせていただきました。

現在、実家の東京杉並区の医院で父と共に診療をおこなっています。

趣味は、低温調理等の科学する料理や3Dプリンター等をいじっています。それと“趣味”の定期的なダイエットのためにスポーツジムで汗をかくことも頑張っています。

新フェローとしてICDという伝統ある会に、微力ながら自分の出来ることで貢献できればと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

西川 徹

水谷忠司先生、前田初彦先生のご推薦により2016年度新フェローとして入会させて頂きました西川徹と申します。伝統と歴史あるICD日本部会に入会させて頂きましたことを大変誇りに感じております。

私は、三重県松阪市に生まれ、愛知学院大学歯学部を卒業後、歯周病学講座に入局しました。大学院を卒業後は、University of Connecticut Health Centerにポスドクとして研究留学に行きました。現在は故郷で西川歯科医院の院長を務めながら、母校の歯周病学講座では非常勤講師としてお世話になっております。



趣味は、ゴルフ、旅行、スキューバダイビングです。休みがあれば外に体を動かしに、長期休みがあればすぐに海に出かけます。

今後は、ICDの一員として歯科界ならびに会の発展に寄与したいと思っております。まだまだ若輩者ですが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

本田 雅規

この度、ICDのフェローとして入会させていただきましたことに心より感謝申し上げます。平成元年に愛知学院大学歯学部を卒業後、開業医にて勤務後に、名古屋大学医学部口腔外科にて学位を取得しました。そこで、再生医学に興味を持ち、ボストンのフォーサイス研究所、東京大学医科学研究所寄附講座および日本大学歯学部解剖学第Ⅱ講座にて学び、昨年、母校の口腔解剖学講座の主任教授として戻ってまいりました。趣味はクラシックカーレースですが、慣れない職務で趣味の時間が取れていません。今後は、本会を通じて社会に貢献できることを考えて実行し、歯科医学の発展に貢献したいと考えておりますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



松永 健嗣

この度、水谷忠司会長、平井順先生のご推薦を賜り、荣誉あるICDの新フェローとして入会させていただきました松永健嗣(まつながけんじ)です。

平成5年に大阪歯科大学卒業後、勤務医を経て、平成17年から地元の石川県金沢市にて開業しております。診療所は観光地金沢の玄関口、JR金沢駅前のホテル日航金沢の2階にあります。北陸新幹線開業後は、駅前も観光客が増え、地方都市なりの活気が出てきております。また、現在は毎月のように医歯薬系の学会が開催されており、フェローの先生方も今後金沢にお越しになられる機会もあるかもしれません。東京からも名古屋からも大阪からも2時間半です。是非とも観光地金沢にお越し下さい。

フェローの先生方、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



山田 邦晶

小峰一雄先生、平井 順先生のご推薦により、2016年度新フェローとして国際歯科学士会日本部に入学させていただきました、山田邦晶(やまだくにあき)と申します。出身は、京都市内の上京区にある五華街の一つ上七軒の生まれ、修行も兼ねて勤務医時代を経て、上七軒の父親の診療所で開業するまで手伝いをし、現在、中京区にて歯科医の家内と共にかおり歯科医院を開院しております。出身校は、岐阜歯科大学(現朝日大学歯学部)、現在、母校の朝日大学歯学部、口腔病態医療学講座インプラント学分野、及び、東京歯科大学 歯内療法学講座 非常勤講師を拝命し、臨床と学術に貢献出来るように日々譴責に努力しております。伝統ある会に参加出来ること有難く思います。今後とも、よろしくお願い致します。



脇 智典

このたび、国際歯科学士会に入会させていただきました、脇 智典と申します。ご推薦頂きました、千田 彰先生ならびに富士谷 盛興先生に感謝申し上げます。



私は、山口県防府市出身で、朝日大学歯学部を卒業後、大阪大学大学院歯科補綴学第一講座にて大学院を修了し、約7年間医局にお世話になりました。その後、米国ロマリダ大学インプラント歯科学講座に約4年間留学し、インプラント学のCertificateと米国インプラント学会の専門医を取得しました。

現在は、東京都港区で開業するとともに、大阪大学大学院で臨床准教授として、毎月講義を行っております。専門は補綴歯科学とインプラント歯科学です。

そしてこのたびは、冬期学会での講演という貴重な機会を与えて頂き、ありがとうございます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

錦齢会 報告

平成28年10月23日 秋晴れの穏やかな日曜日に、〈第一回錦齢会〉が帝国ホテル2F〈讚アプローズ〉にて開催されました。この会は終身フェローの皆様にお集まりいただき、歯科医師として歩んでいらした人生の一端をご披露いただき、我々若い世代が拝聴し参考にさせて頂くといった、水谷会長発案による新しい集まりです。今回は初回ということもあり、私たち会員支援委員会は当日のプログラム作成には多少苦慮いたしましたが、そこは何といっても同じICDフェローならではのお気遣い。自然とアットホームで和やかな雰囲気と

なり、ご出席いただきました8名の終身フェローのみならず、私たちも楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。当初この会の名称〈錦齢会〉は仮のものでしたが、当日ご出席いただきましたフェローからのご賛同も得られましたため正式名称となり、毎年の恒例行事ともなりました。次回の錦齢会ではどんなお話が伺えるか、今から楽しみです。

会員支援委員会 常任理事 志田 佐和子



◎ 2016年度中部支部総会・学術講演・懇親会 報告

ICD日本部会中部支部の2016年度中部支部総会が、平成29年2月5日(日)に名古屋キャッスルプラザホテルにて開催されました。総会では2016年度の事業・会計報告が承認され、2017年度の中部支部の活動として、2017年5月に予定している台湾部会への表敬訪問の件について報告されました。

学術講演は、ICD中部支部所属の松崎正信フェローと鯉江正人フェローに講演して頂きました。松崎フェローには「素敵な笑顔を保つために～Beautiful Smiles～」と題して、矯正治療時の審美性を考える上での要点や診断基準について分かりやすく講演して頂きました。鯉江フェローには最近問題となっている「薬剤関連顎骨壊死の予防と対応について」と題して、臨



床写真を交えて講演して頂きました。どちらの演題も大変興味深く、講演後は活発な質問があがりました。

その後、懇親会が中部支部会員17名、本部から8名のフェローの参加で行われました。服部支部長や水谷会長の挨拶に続き、小林前会長の乾杯により、和やかな雰囲気の中、会が始まりました。後半には恒例の出席者全員による近況報告が行われました。会員のユニークなスピーチに会場は大いに盛り上がりました。

中部支部 長縄 敬弘



◎ 関東地区セミナー 報告

毎回、大変ご好評をいただいている関東地区セミナーですが、平成28年も7月に第3回、11月に第4回のセミナーを開催し多くのフェローのご参加をいただきました。

7月には東海大学教授の金子明寛フェロー、日本歯科大学准教授の石川明子フェローに、また10月にはアメリカ部会名誉フェローの桑田正博先生に講師をお願いいたしました。

関東地区セミナーはフェローの中から各分野でご活躍されている先生方に講師をお願いし、フェローの教養と親睦を深めることを目的としております。

セミナー後の懇親会ではさらに膝を交えて深いお話をお聞きできることもあり、普段なかなか事業にご参加いただけないフェローや、ICDへの入会を希望されている先生なども出席されています。

平成29年も7月と11月に開催を予定しております。より多くのフェローのご参加をお待ちしております。

〈第3回〉平成28年7月23日(土)

■講演Ⅰ「外来処方のお話 ～効果的処方、注意しなければならない相互作用について～」

講師：金子明寛(東海大学医学部外科系口腔外科教授)

■講演Ⅱ「チャレンジ!! トラブルを起こさないホワイトニング」

講師：石川明子(日本歯科大学准教授/同附属病院総合診療科ホワイトニングチーム長)

〈第4回〉平成28年11月26日(土)

■「今! 共に考えよう 歯科医療のあるべき姿 ～世界の桑田正博が語る日本の歯科医療～」

講師：桑田正博(ボストン大学歯学部客員教授/愛歯技工学校名誉校長)

第1部「国民皆保険制度から半世紀、今だから!! 国会での講演を語る」

「人類の肉体的、精神的な健康の”要”は口腔の健康にある」

第2部「世界水準から見た日本の歯科医療そして我々が目指すべき歯科医療とは?」

「世界に見る歯学の変遷、そしてこれからの歯科を考える」

(第3回、第4回とも、飯田橋の東京区政会館会議室にて開催)

関東地区セミナー実行グループ 前島 健吾

